TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

起きなさい！主は敬虔な人々を救い出すことを心得ておられる

ペトロの手紙二 2:4-16

2022 年 3 月 12 日&13 日
余沢　武牧師

I.　はじめに

こんにちは。来週火曜日(3 月 15 日)午後 7 時半から、教会全体の祈り会「世界に神の平和があり、神がそこにいてくださいますように」を Zoom で行います。ぜひご参加ください。TBC ライフにも参加用リンクがありますが、[https://t-b-c.us/prayforpeace]からもご参加いただけます。お祈りしましょう。

第 2 ペテロの学びを通して、「主にあって敬虔に」生きるために必要な全てのものを私達はもう受け取っていると学びました。これは主にクワイエットタイムを通して与えられます。それは信仰には徳を、徳には知識を、知識には節制を、節制には忍耐を、忍耐には敬虔を、敬虔には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えられることによります。

神は聖書を、この暗い世界で私達を導くともしび、光として与えました。しかし、闇の中にある人の思いから発せられる偽教師の教えもあります。

私達がそのような教えに従う時に、敬虔さが増すどころか、私達は放縦に従う、つまり性的不品行になります。

そして神はそのような偽教師をいつか滅ぼされます。

II.　主は、敬虔な人々を救い出すことを心得ておられる

(1) 滅びはやって来る

ペテロは次のように説明します。ペトロの手紙二 2 章 4−10a 節をみましょう。「神は、罪を犯した天使たちを容赦せず、暗闇という縄で縛って地獄に引き渡し、裁きに向けて閉じ込められました。また神は、古い世界を容赦せず、不敬虔な者たちの世界に洪水を引き起こし、ただ、義を説いていたノアたち八人だけを守られました。また、ソドムとゴモラの町を罰し、灰にして滅ぼし尽くし、不敬虔な行いをしようとする者たちへの見せしめとされました。しかし神は、不道徳な者たちの放縦な振る舞いに悩まされていた正しい人ロトを救い出されました。なぜなら、この正しい人は、彼らの間に住んでいたとき、その不法な行いを見聞きして、日々正しい心を痛めていたからです。主は、敬虔な人々を試練から救い出す一方、正しくない者たちを、裁きの日まで懲らしめのもとに置くことを心得ておられるのです。特に、汚れた欲のままに肉に従って歩み、主の権威を侮る者たちに対しては、そうなさいます。」

ペテロによると、神はそのような不品行を滅ぼすことを 3 つの出来事を通して証明しました。

神は罪を犯した天使達を容赦しませんでした。創世記 6:2 にはこうあります。「神の子ら(ユダヤ人はこれが天使だと信じていました)は、人の娘たちが美しいのを見て、それぞれ自分が選んだ者を妻とした。」

ユダヤ人は、神が彼らを不品行の裁きのために地獄に閉じ込めたのだと信じました。

1.神はノアの時代に古代の世界を容赦しませんでした。創世記 6:13 にはこうあります。「神はノアに言われた。「すべての肉なるものの終わりが、私の前に来ている。彼らのゆえに地は暴虐で満ちているからである。今こそ、私は地と共に彼らを滅ぼす。」

2.神は洪水によって世界にいるすべての人を滅ぼしました。ほとんど全ての人を、、です。

3.神はソドムとゴモラという不品行の町を容赦しませんでした。神が神の御使いをこれらの町に送った時、ロトは御使い達を自分の家に招き入れました。

創世記 19:4-5 にはこうあります。「ところが彼らが休む前に、町の男たち、ソドムの者が若者から老人までこぞって押し寄せ、家の周りを取り囲んだ。そしてロトに向かって叫び立てて言った。「今夜、お前のところにやって来た男たちはどこにいる。ここに出せ。我々は連中を知りたいのだ。」」

神はそれらの町もそこにいた人達も皆滅ぼしました。ほとんど全ての人を、、です。

(2) 主は敬虔な人々を救い出す

大切なのは「ほとんど」という言葉です。神は不品行な者を全て滅ぼされましたが、数少ない人達を救いました。

1.　古代の世界の全てが洪水によって滅ぼされまし

たが、神は 8 人、ノアとノアの家族の命を助けました。何故なら、彼らは全く他の人々と違っていたからです。ノアは神を信じる敬虔で正しい人でした。人々からこの家族が変な人達だと思われていたことはほぼ間違いないでしょう。そして誰も彼らの言うことを聞きませんでした。

彼らはあざけられ、ばかにされました。そしてそれを何年も耐えたのです。しかし、神は彼らを守りました。

2. ソドムとゴモラのときも同じでした。この二つの町の全ては滅ぼされましたが、神は 3 人、ロトとロトの娘たちを守ったのです。ロトは敬虔で正しい人でしたので、他の人々とは全く違っていました。その時も、彼らは変人と目されていて、超少数派でした。彼らも周囲からバカにされ、あざけられていました。でも彼は他の人とは全く違った生き方を何年もし続けたのです。神は彼を救い出しました。

ペテロがこれらの例を挙げたのは、私達が聖書をこの暗闇の中の唯一の光として従うのなら、この世の人とは全く違ってくることを教えたかったのです。私たちは堕落した道、つまり性的不品行に迷い込むことでなく、敬虔に歩むことで成長していくからです。

私達は先週「**性的不品行**」の意味を見ました。聖書によると性的な関係は、1 対の男女間の結婚の内に与えられた神の賜物です。ですから、

一組の男女間の結婚外のいかなる性的な思いも罪、性的不品行です。だからポルノを見ることは罪なのです。
一組の男女間の結婚前の、またはその外のいかなる性的な関係も罪、性的不品行です。
一組の男女間ではない、いかなる性的な関係も結婚も罪、性的不品行です。

このような考えを私達が持ち続けると、私達は変人と見られ、この世の中でとても少数派になります。私達はあざけられ、ばかにされます。その光に従うのをやめようという強い誘惑が来ます。

ルース・W・ベレンダと彼女と共に働く研究者たちが、しばらく前になりますがある実験をしました。10 人の十代の若者のグループを一つの部屋にテストのために連れてきます。そして 10 人ずつのグループがそこで、先生が 3 つの異なる表の中から一番長い線を指した時に手を挙げるように言われます。

各グループ内で 1 人だけは、他の 9 人があらかじめ 2 番目に長い線に手を上げるようにと言われているのを知りませんでした。知らされてない 1 人はたいてい周りを見回し、他のグループメンバーと一緒に手を挙げ、短い線の方が一番長いと言ったのです。

研究ではこれが 75%の割合で起こることがわかりました。それが私達が直面する誘惑です。

ペテロは、他の人達が私達に同意しない時に私達が暗闇の方へ向かうよう誘惑されることを知っていました。だからペテロは私達に、神の光に従い敬虔に生きることはこの世で変人になることであるとあらかじめ教えてくれたのです。私達はばかにされ、あざけられ、時には攻撃されるかもしれません。

覚えておられる方もいるかもしれませんが、数年前、アメリカ、オレゴン州のケーキ店主夫妻に同性婚カップルのウェディングケーキの注文が来ました。その店主夫妻はキリスト教信仰のため出来ないと丁重にお断りしました。

それで彼らは訴えられ、同性カップルの受けた精神的苦痛に対し 135,000 ドル(1600 万円)支払うように裁判で言い渡されました。しかし最終的に、店主夫妻はその支払いを免れたことを読みました。夫妻がこのプロセスをどんな思いで通過していったか想像してみましょう。私たちが光の中を歩もうとするなら、時に私たちは誤解され、憎まれることもあるのです。

(3) 不敬虔な者

10 節 b-12 節「彼らは、厚かましくわがままで、栄光ある者たちをそしってはばかりません。これに対し、天使たちは、権威にも力にもまさっているのに、主の前で彼らを訴えそしることはしません。この者たちは、捕らえられ、滅ぼされるために生まれて来た理性のない動物と同じで、自分が知りもしないことをそしるのです。そのような動物が滅ぼされるように、彼らも滅ぼされてしまいます。」

ペテロによると偽教師達は、彼らが理解しないことをけなします。聖書学者であった故 R.C.スプロール博士は、彼の神学校での経験をこう話していました。

スプロール氏によると、彼は神に関することに堂々と敵対していた高い学位を持つ教授たちから毎日学んだそうです。教授達は自分たちの持つ力を精一杯使って、学生たちの信仰をだめにしようとしていると思ったそうです。

すべての神学校がそうだとは私は思いません。しかし、私達は覚えていなければなりません。敬虔に生きよう

と願うなら、自分が本当に神の御言葉の内に歩いているかに気をつけて、それを確認しなければなりません。そうでなければ、敬虔になっていく代わりに、不品行になっていってしまいます。

ペテロは続けます。13 節-16 節「不正を働く者は不正の報いを受けます。彼らは、昼間から享楽にふけるのを楽しみとしています。彼らは、染みや傷のようなもので、あなたがたと宴席に連なるとき、だまし事にふけって騒ぎます。その目は姦淫の相手を求め、飽くことなく罪を重ねています。彼らは心の定まらない人々を誘惑し、その心は貪欲に慣れ、呪いの子となっています。彼らはまっすぐな道を離れてさまよい、ボソルの子バラムの道に従いました。バラムは不義の儲けを愛し、その過ちに対するとがめを受けました。ものを言わないろばが人間の声でものを言い、この預言者の常軌を逸した行いを阻んだのです。」

気をつけなければいけないのは、ペテロが「その心は貪欲に慣れ」と言っていることです。「慣れる」という言葉は運動選手が競技会に向けて準備する厳しいトレーニングを表します。

敬虔になるために厳しいトレーニングをする代わりに、彼らが厳しくトレーニングしているのは、

1 自分に自然に与えられている良心に対してそれが完全に崩壊するまで戦うこと
2 禁止された願望を正当化するために自分の思いの中で理由を考え、他の人も同じようにするよう誘惑までします。ペテロは言います。これらに「気をつけなさい」と。

(4) 最後に

しかし私達が光の中にとどまるなら、次のことがわかるでしょう。

1 私達はどうしようもなく罪人で、暗闇に属する者である。
2 神の御子が私達の罪のため、死ぬために来てくれて、私達を真理に導いてくれる。
3 私達に聖霊の力を与え、他の人と全く違った生き方が出来るようにしてくれる。
4 私達は敬虔に歩んで成長し、決して滅ぼされることはない一神は私たちを助け出してくださる方。

自分たちが光の中にいるのかどうか、私達が偽教師からだまされているかどうかわかる方法ですが、その時は自分に聞きましょう。私達は他の人と違っているでしょうか？今日の社会で変な人でしょうか？世の中の罪を嘆いているでしょうか？全く違った敬虔な生き方を望んでいるでしょうか？

紀元二、三世紀の有名なクリスチャン学者テルトゥリアヌスがクリスチャンになったのは、クリスチャンの内に彼が見たもの、クリスチャンが他の誰とも違っていたからだと伝えられています。

クリスチャンが他の人とは全く違う生き方をしていたので、彼は強い印象を受けたのです。なぜそのように違う生き方が出来るのかを知りたかったのです。それが彼を改宗に導きました。そういう風に私たちが他の人に影響が与えられるよう祈ります。まだイエスを受け入れてない人は、今日受け入れてください。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 2018

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https:/t-b-c.us/sg5221jp

・クラス 401
（伝道方法を学ぼう）
3月19日（土）13:30～17:30
https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1．週末礼拝メッセージ翻訳者（数名募集）

1か月半に1度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語を日本語へ翻訳します。

2．日本語字幕オペレーター（4名募集）

各礼拝（特に3時、5時の礼拝募集）の字幕のページをめくる奉仕です。英語を聞いて日本語がどの翻訳部分かわかる程度の英語力が必要です。操作は矢印キーを押すだけの簡単なものです。

連絡先（ひろみ）：
hiromik@tokyobaptist.org